

日 時：平成28年7月14日（木）

9時45分～10時30分

場 所：1階療育訓練室

指導者：菊池知恵子（T1）、長谷部元（T2）

堀井千秋（T3）、栗田彩子（T4）

1 題材名 「朝の活動・朝の会 ～朝の会 夏！～」

2 目 標

- （1）夏の雰囲気を感じながら、楽しく一日をスタートする。
- （2）呼名に気付き、発声で応える。
- （3）教師と一緒に係活動にスムーズに取り組んだり、友達と笑顔で触れ合ったりする。

3 生徒と題材

（1）生徒について

本グループは、高等部2年女子2名、高等部3年男子1名、女子1名の計4名から成る。全員が独立行政法人国立病院機構あきた病院の重症心身障害児（者）病棟に長期入院しており、内3名が過年度の卒業生である。4名とも体調が安定しており、病棟内外への移動許可が出ているため、全員で集まって学習することが可能で、他の学習においても一緒に活動する機会が多い。

姿勢・動作については、3名が座位を保持することができ、1名は上体を支えるとあぐら座が可能である。全員がボタンを押したり、物をつかんだり紐を引いたりする動きができる。人との関わりにおいては、語りかけやボディタッチに笑顔や発声で返すなど、人と関わるのが好きな生徒たちである。生徒同士の直接的な関わりは少なく、教師の媒介が必要だが、友達を見て笑顔になったり、友達の持っている物に手を伸ばしたりするなど、学習を共に行う仲間としての意識が高まってきている。

（2）題材について

朝の活動・朝の会は、一日の始まりを意識し、学校生活への期待を高めるための大切な時間であり、毎日同じ時間に同じメンバーで決まった内容を繰り返し学習できるため、環境の把握が苦手な生徒たちにとって、見通しがもちやすく安心して取り組める活動である。安心した環境の中で個別の課題にも継続的に取り組めるため、返事や係活動、他者との関わりなどに関する力の向上が期待できる。また、病院という変化の少ない場で生活を送る生徒にとって、日付や天気、季節などについて見たり聞いたり触れたりすることは、外界に対する興味の広がりにつながると思う。

生徒の実態から、本グループでは、「①期待感をもって一日をスタートすること」「②自分なりの方法で気持ちを表そうとすること」「③身近な人や物への興味を広げること」を年間目標に据え、『季節』をテーマにして、次のような学習内容を設定した。「朝の活動」では、全員で玄関に集まって天気の確認をし、一日の始まりと一緒に学習する友達に対する意識を高められるようにする。「朝の会」では、晴天時は屋外で実施し、活動の最後に散策を行い、風を感じたり、海を見たりして、季節を全身で味わい、その楽しさを友達と共有できるようにする。雨天時は、室内で呼名に対して返事をする活動、係活動、季節の手遊びにじっくり取り組み、友達や教師と直接触れ合いながら主体的に活動する楽しさを感じられるようにする。

4月～6月の「朝の会 春！」では、当初、新しい学習集団のためかざこちな雰囲気があったが、海に見える東屋に行ったり、輪になって『茶摘み』の手遊びをしたりしながら、同じ流れで朝の会を繰り返すうちに、穏やかな表情で活動できるようになり、楽しい時間を共有する仲間として友達を意識するようになった。本単元「朝の会 夏！」では、取り上げる歌や風物詩を夏バージョンに変え、友達と直接触れ合う活動を増やすことで、笑顔で友達と関わったり、呼名の仕方や教材・教具を工夫することで、返事や係活動に自発的に取り組もうとしたりする姿を引き出したい。

（3）指導に当たって

①夏を感じながら、楽しく一日をスタートできるように

- ・リズムカルな夏の歌や夏の風物詩をモチーフにした教材を用意する。
- ・教師も一緒に呼名やお楽しみタイムに参加し、雰囲気を盛り上げる。

②呼名に気付き、発声で応えられるように

- ・次に呼名する生徒をめぐって、T1がビーチボールを転がして予告する。
- ・生徒の気持ちが整ってから呼名し、言葉掛けを控え、期待を込めて見つめながら返事待つ。

③教師と一緒に係活動にスムーズに取り組んだり、友達と笑顔で触れ合ったりできるように

- ・興味を引くようなボードやカード、スイッチを用意する。
- ・言葉掛けやボディタッチなどでタイミングを計りながら、呼吸を合わせて一緒に係活動を行う。
- ・生徒同士の関わりが期待できる並びで座配する。活動によって生徒同士の距離に変化をつける。

4 指導計画（総授業時数175時間）

月	4月～6月	7月～9月中旬	9月下旬～12月上旬	12月下旬～3月
題材名	「朝の会 春！」	「朝の会 夏！」	「朝の会 秋！」	「朝の会 冬！」
時数	45時間	40時間（本時12／40）	45時間	45時間



朝の活動	朝の会	担 当
①健康観察 ②身だしなみ ③天気調べ（南北棟玄関前） ＊移動 晴天時：東屋へ 雨天時：病院内へ	①朝の歌『夜が明けた』 雨：『あめふり』 ②出席調べ ⑥先生の話 ③日付 ⑦夏のお楽しみ ④季節の確認『静かな湖畔』 『サモア島の歌』 ⑤天気 ⑧掛け声 晴れ：『喜びの歌』 ⑨散策（晴天時） 曇り：『はばたけ鳥』	・日付(カード)：A ・日付(音声再生機)：D ・季節(カード)：B ・天気(カード)：C

5 本時の計画

(1) 本時のねらい

- ①夏の歌に聴き入ったり笑ったりして、楽しく一日をスタートする。
- ②教師の支援を受けながら、呼名に発声や笑顔で応える。
- ③友達や教師と身体が触れ合うことやリングを一緒に持つことを受け入れる。

(2) 個別の実態及びねらい

児童生徒 学年・性別	実 態	ねらい
A 高2 女	- 朝の会のメンバーに慣れ、リラックスして活動に取り組んでいる。リズムカルな曲調の歌や繰り返しの言葉を好み、教師の歌や手拍子を聴いて笑顔になる。気持ちが盛り上がると、声を出すことがある。 - 呼名する教師に視線は向けないが、ボールが転がってくる様子を見たり、教師の声を聞いたりして笑顔になることが増えてきた。 - 隣の友達の様子に関心をもち、顔を向けて見たり、身体が触れ合うと表情が和らいだりするようになってきた。自分からリングを触ろうとはしないが、掛け声を聞いて笑顔になることがある。	- 夏の歌を聴いて、楽しい気持ちを表情や発声で表す。 - 名前を呼ばれたことに気付き、笑顔や発声で応える。 - 友達や教師の様子を見たり触れ合ったりして、感じた気持ちを表情や発声で表す。
B 高2 女	- 気持ちに波があり、つまらなそうな顔をしていることがあるが、学校に行くことを楽しみにしており、朝は、笑顔で教師を待っている。 - 名前を呼ばれると10秒ほどしてから発声することが増えてきた。 - 教師と一緒に活動することを好み、笑顔を見せながら一生懸命取り組もうとする。自分より年齢の高い友達に対する興味が少なかったが、視線を送ったりするようになってきた。	- 夏の歌を聴いて、笑顔を見せたり声を出したりする。 - 名前を呼ばれたことに気付き、返事をしようとする。 - 友達がもっているリングに自分から手を伸ばす。
C 高3 男	- 周囲の人の動きに興味があり、人との関わりを好む。にぎやかな雰囲気を好み、歌を歌ったり語りかけたりすると、相手に注目し笑顔を見せることが多い。 - 言葉掛けに対して笑顔や発声で応えることができるが、発声は嬉しいときに出ることが多く、「呼名」を他の言葉掛けと区別し、意識して発声で応えることは少ない。 - 物をつかむことが好きで、常時愛用のリングを持ち歩いている。リングを介して周囲の人への働きかけをすることもある。	- 周囲からの関わりを受け止め、感じた気持ちを表情や発声、体の動きで表す。 - 呼名されたことを意識し、笑顔や発声で応える。 - 友達や教師に意識を向け、リングや直接の触れ合いを通して関わりを楽しむ。
D 高3 女	- グループの賑やかな雰囲気に慣れてきている。外での集合時や始まりの歌のとき、何度も顔を上げて回りの様子を見るようになり、友達の様子や始まりを意識している。 - 出席調べでは、名前を呼ばれると「うんうん」とうようにうなずいたり、「あうっ」と声を出したりして返事をするようになってきている。 - 歌いながら教師に身体をタッピングされると笑顔になったり、友達の持ち物に関心をもち、手を伸ばして触れようとしたりする姿が見られ、友達との関わりを楽しむ様子が見られる。	- 夏の歌を聴いて、感じた気持ちを身体の動きや表情で表す。 - 呼名に顔を上げたり、発声をしたりして返事をする。 - 友達と触れ合ったり、リングを教師と一緒に持ったりすることを穏やかな気持ちで受け入れる。

（３）指導過程

時間	学習活動	指導の手立てと留意点				準備物等
15分	1 朝の活動 (A,B: 2階学習室 C,D: 北1病棟) ①健康観察 ②身だしなみ ③天気調べ (南北棟玄関前)	A【T3】 ・担任に注目できるように、表情を見ながら言葉を掛ける位置や声の大きさを調整する。	B【T1】 ・やる気が維持できるように、笑顔で話しかけたりボディタッチをしたりして、密に関わる。	C【T2】 ・登校への意欲を高められるように、病棟内のたくさんの人と挨拶を交わす場面を設ける。	D【T4】 ・心地良く一日の始まりを迎えられるように、顔を拭いたり好きな香りの化粧水をつけたりする。	・おしぼり ・身だしなみグッズ
		・南北棟玄関前に集合した際は、集団学習の始まりを意識できるように、自然な雰囲気の中でそれぞれに笑顔で挨拶をしたりボディタッチをしたりしてコミュニケーションを図る。健康状態や情緒について確認し合う。 ・天気、風、気温などに意識が向くように、車椅子の角度を変えて空を見たり、「暑いね」「風がないね」などと言葉を掛けたりする。				
5分	2 1階療育訓練室に移動					
25分	3 朝の会 ①朝の歌『夜が明けた』 ②出席調べ ③日付 ④季節『静かな湖畔』 ⑤天気 晴れ：『喜びの歌』 曇り：『はばたけ鳥』 雨：『あめふり』 ⑥先生の話 ⑦夏のお楽しみ 『サモア島の歌』 ⑧掛け声	・友達を近くに感じられるように、車椅子から降りて姿勢を整え、扇形に座るようにする。相性を考えた並び順にする。 ・朝のイメージや夏のイメージがもてるように、随所に歌や手遊びを入れる。その際、生徒の表情や動作に合わせてリズムや速さを変えられるように伴奏は付けず、教師がアカペラで歌う。 ・気持ちが落ち着かないときは、情緒の安定を図るために、【T3】が手を握り、名前を呼びながら優しく言葉を掛ける。	・座位の保持が難しいため、【T4】や【T1】が後ろから支え、安定した姿勢で臨めるように、腹部にクッションを当てる。	・両隣の友達に手が届き、友達の様子が見える場所に座るようにする。	・気持ちが落ち着かないときは、情緒の安定を図るために、背中をマッサージしたりバスタオルを持たせたりする。 ・肘が床につかないように、腹部にクッションを当てる。	・セラピーマット ・？ボックス ・日付カード ・季節カード ・天気BOX ・音声再生機 ・ビーチボール ・デフューザー ・扇風機
		①楽しい気持ちで朝の会をスタートできるように、手拍子をしながら歌って盛り上げる。歌詞に合わせて【T1】が生徒の手をとり、目線を合わせて順番に挨拶をしていく。 ②呼名されることへの心の準備ができるように、また、呼名される友達に注目できるように、次に呼名する人めがけて大きなボールを転がす。呼名に応えようという気持ちを引き出すために、言葉掛けを控え、期待を込めて温かい雰囲気です事を待つ。 ③④⑤係活動を成し遂げた満足感が得られるように、自分から取り組んでいるときは見守り、気持ちが向いていないときは楽しい雰囲気と一緒に行う。				
		・呼名を意識できるように、【T3】が「呼ばれるよ」と予告する。正面を向いて気持ちが整ったことを確認してから呼名をする。	・自分の力で頑張る気持ちを尊重し、返事や係活動のときは、準備が整うまで支援を控えて温かく見守る。	・呼名されたことを意識できるように再度呼名したり、呼名のリズムに合わせて軽く肩をたたいたりして応答を促す。	・呼名されることに気付けるように、事前に【T1】が優しく手に触れ、視線を合わせてから、名前を呼ぶ。	
		⑥生徒が今日の予定や昼食を誰と食べるのかなどについてキーワードを用いながら端的に話す。 ⑦友達と一体感を感じられるようにリング（直径30cm）を中央に置き、それを囲むように座り直す。「やっぱり学校は楽しいな」「みんなも楽しそうだ」と感じられるように、教師も一緒になって輪になりボディタッチをしたり身体を寄せ合って揺れたりして夏の雰囲気を楽しむ。香りや風などの演出をする。 ⑧盛り上がって終われるように、全員で大きなリングに手を掛け、掛け声と同時に輪を持ち上げるように支援する。				
		・リングに手が伸びないときは、無理強いをせず、優しく手を添え腕の動きをサポートする。	・リングに気持ちが向くように、『サモア島の歌』の最後にリングに触れるようにさりげなく誘導する。	・『サモアの歌』の楽しさを共有できるように、視線を合わせて歌い掛ける。 ・他の生徒の見本となるように、一番始めにリングを持つ。	・リングに手が届くように、座る位置を調節する。	

（４）評価

- ①児童生徒
- ②教師
- ・本時のねらいは達成できたか。
- ・児童が笑顔になったり声を出したりしたくなる、楽しい雰囲気づくりができたか。
- ・返事をしようという気持ちを引き出すことができるような教材・教具の使い方や、タイミングの良い言葉掛けができたか。
- ・友達や教師と触れ合うことを楽しむための配置、教材・教具の準備ができたか。

（５）配置図

